まちの話題 **Town Topics** 

# 自分にもできることがある

生涯学習館で、「第35回やいたみんなのつどい」が 開かれ、100人を超える方が参加しました。これは、男 女共同参画社会の実現と魅力・活力ある地域づくりを目 的に開催しているものです。

講演会では、主夫芸人の中村 シュフ氏が登壇し「自 分らしくチャレンジ~自分を見つめて、今を大切に~」 と題し、芸人から専業主夫になった経験から、「『家族全 員を笑顔にするため』に行う全てのことが家事。誰にで も必ずできることがある」と話されました。



### 五輪事前合宿受け入れへ

宇都宮市内のホテルで、東京 2020 オリンピック競技 大会の事前キャンプ実施に係る覚書締結式が、県・矢板 市ほか3市とハンガリーの9競技団体との間で行われ ました。既に締結済みの陸上競技と合わせ、ハンガリー との協定は県内で10競技となりました。

矢板市では、自転車・ゴルフ競技の事前キャンプの受 け入れが予定されており、協定を受け市長は「東京オリ ンピックで最高のパフォーマンスが発揮できるよう、選 手たちを最高のおもてなしでお迎えしたい」と話しました。



福田知事

・ハンガリーオリンピック 委員会 クルチャール会長

## 防災力向上を目指して

安沢のエコパークしおやで、「矢板市防災士養成講座」 が行われ市消防団員をはじめとする市民の方、約50人 が受講しました。この防災士という資格制度は、阪神・ 淡路大震災の教訓を踏まえ、住民自立型の防災体制の担 い手として、正しい知識と適切な判断力を兼ね備えた人 材を育成する目的で創設されたものです。

受講した方たちからは「学んだ防災知識を家庭や地域の 方に還元したい。啓発活動などを通じて、いざという時に 頼れる身近な存在になりたい」と頼もしい声が聞かれました。





# ペットも一緒に避難

市は58ロハスクラブを運営する株式会社グリーンヘリ テージと「災害時における防災活動相互支援等に関する協 定」の締結を行いました。この協定は、大規模災害発生時、 被災者および帰宅困難者に対して施設などを一時避難所 として開放していただくもので、施設の特徴を生かし、ペッ ト同伴の避難にも可能な限り対応していただくものです。

小森社長は「台風 19 号の時、SNS でペット同伴避難可能 と呼びかけたところ、多くの反響があった。ペットとともに安 心して避難できる場所になればうれしい」と話してくれました。



浴場のあるクラブハウ スやグランピング施設、 日本最大級のドッグラ ンを備えています。



### 住むだけで健康になるまちに

矢板公民館で「これからの医療と介護を考える」と題 し、第5回市民公開講座が開催されました。これは医 療と介護の連携に係る先進的な取り組み事例などを学び、 提供体制のさらなる推進を図るもので、市民、医療従事 者、介護サービス事業者など、約100人が参加しました。

講座は2部構成で行われ、第2部では村井クリニッ ク 村井 邦彦院長が基調講演を行い、「地域全体で住む だけで健康で幸せになれるまちづくりを考え、実践して ほしい」と参加者に強く呼びかけていました。



理栄養十の金丸、弥枝さ んが「認知症予防と食 事について」と題し、日 ごろの食生活での栄養 素の取り方や注意点を 話してくださいました。



## 子どもの安全を願って

生涯学習館で、交通安全ランドセルカバーの贈呈式が 行われました。これは、4月から小学校に入学する児童 が安全に通学できるよう、矢板地区交通安全協会が毎年 実施しているもので、市のキャラクター「ともなりくん」 が描かれた反射材つきランドセルカバーと交通安全教材 の小冊子が市内の新1年生209人に配布されます。

野口会長は「これは長年続けている大切な取り組み。 事故に遭わないよう気を付けて、楽しい学校生活を送っ てほしい」と話してくれました。





10 令和 2 年 4 月号 令和 2 年 4 月号 11